

特 別 会 計

◆国民健康保険（事業）

【1億7600万円】

被保険者の高齢化に伴い、厳しい財政運営を強いられています。総合的な見直しを考慮しながら事業を進め、引き続き被保険者の健康増進を図りながら医療費の抑制を図っていきます。

◆国民健康保険（直診）

【1億5200万円】

公立刈田総合病院をはじめ、近隣の高度医療機関と連携をより一層深めながら、外来診療、訪問診療などとともに医療サービスの向上、地域医療の推進を図られます。

◆簡易水道

【2億3000万円】

簡易水道計画に基づき、関浄水場配水池増設工事や各浄水場の修繕を行うとともに、安心安全な飲料水を確保するための水質管理が行われます。



▶デイサービスリフト付き
送迎用福祉（寄贈）車両

◆町営バス

【5520万円】

交通弱者、特に子供や高齢者の方々など、利用者の利便性に配慮しながら運行に努めていきます。

◆公共下水道

【1億2110万円】

下水道施設の修繕、脱水汚泥の放射能検査を実施し、水環境保全に努めていきます。

◆介護保険

【3億470万円】

サービス利用者の増加に伴い給付費が増加しています。平成30年度からの3カ年は第7期介護保険事業計画に基づき事業の推進を図っていきます。

◆介護保険サービス

【2600万円】

高齢者生活福祉センターの指定管理委託事業と、高齢者に対する総合相談窓口としての地域包括支援センター・居宅介護支援センターを設置し、介護予防事業及び介護サービス利用のケアプラン作成業務が実施されます。

◆後期高齢者医療

【2360万円】

平成31年（令和元年）度の被保険者数を424名と見込み、保険者である宮城県後期高齢者医療広域連合と一体となって事業が進められます。

◆七ヶ宿ダム自然休養公園

【1680万円】

本町東側の入口であり、交流人口拡大の起点としての環境整備と利水市町や観光客などの誘客を図るため、今年度は遊具や花壇等の整備を行っていきます。

第1回定例会・付議事件

議案第3号

特別の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正について

交通指導隊及び非常勤消防
団の報酬を改定する。

問 梅津 政志 議員

非常勤消防団員報酬の見直
しの算出根拠は。

答 総務課長

仙南2市7町の平均報酬額
を基準としたが機能別団員は
該当しない。平成10年の改正
以来となる。

議案第4号

東日本大震災復興基金条例
の廃止について

東日本大震災復興基金事業
終了のため。

議案第5号

七ヶ宿町町税条例の一部改
正について

身体障害者等の軽自動車税
の申請期間を延長し、申請者
の利便性を図る。

議案第6号

七ヶ宿町国民健康保険税条
例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一
部改正及び低所得者に対する
軽減判定基準を改正する。

議案第7号

七ヶ宿町高額療養費貸付基
金の設置及び管理に関する条
例の一部改正について

限度額適用認定証の普及や
高額療養費の現物給付による
健康保険制度の拡充に伴い、
貸付の実績がなくなった。

議案第8号

七ヶ宿町国民健康保険出産
資金貸付基金条例の廃止につ
いて

医療機関への直接支払制度
の普及に伴い、資金貸付の必
要性がなくなった。

議案第9号

七ヶ宿町賑わい拠点施設条
例の一部改正について

入浴施設及びバイオマス施

設の建設に伴い新たな拠点施
設を追加。

問 村上 満 議員

誰が管理者となるのか。

答 ふるさと振興課長

町づくり株式会社が指定管
理者となる。

議案第10号

七ヶ宿ダム自然休養公園基
金条例の一部改正について

公園の適正な維持管理基金
の有効活用により活性化を図
る。

問 吉田 修 議員

基金そのもので管理する施
設とは。

答 ふるさと振興課長

基金利子で維持管理を行っ
ていたが、公園全体の維持だ
けでなく有効活用する。

議案第11号

七ヶ宿町担い手づくり基金
条例の制定について

七ヶ宿町再生可能エネル
ギー発電事業を有効に活用
し、農林漁業の健全な発展と

将来にわたる地域担い手の育
成確保を図る。

問 吉田 修 議員

具体的な構想は。

答 ふるさと振興課長

平成31年（令和元年）度か
ら20年間予定。年間2000
万円を活用し、拠点整備や担
い手確保などを進める。

議案第12号

七ヶ宿町定住促進宅地の貸
付及び譲渡移管する条例の制
定について

七ヶ宿町への定住を促進
し、地域の活性化に寄与する
ことが目的。

問 梅津 政志 議員

建築までの猶予期間は。

答 貸し付け後、2年の間で
の住宅建築が条件となりま
す。